

災害につよい支え合いのまちづくり



【八熊学区】

■世帯数：4,950 世帯

■人 □：9,581 人

■面 積：1.018k㎡

平成 24 年 4 月 1 日現在

1 活動・取り組みの内容

- ・ 八熊小学校にて防災訓練を実施。参加者数は約 250 人。
- ・ 訓練は午前9時から、12 時まで行い、担架訓練、炊き出し、仮設トイレの組み立て、給水訓練等に加え、高齢者の車いす搬送の訓練も行う。
- ・ 訓練会場には起震車による地震体験コーナーも設ける。

【住民へのPR方法】

学区連絡協議会が各町内の回覧板で周知

2 きっかけ、背景

東日本大震災をきっかけに防災に対する住民からの要望や、役員からの提案があり、学区連絡協議会として住民と防災に関する情報共有を行うことや、住民の防災意識を高める活動を進めていくことへの意識が高まった。

3 実施の体制

(1) 運営メンバー

区政協力委員、民生委員児童委員、消防団員、PTA、女性団体・女性会、子ども会、老人クラブ 計約35人

(2) 他団体との協力

消防団、民生委員児童委員、老人会、子ども会、PTA

4 実施のスケジュール

H23年 7月29日 防災会議にてスケジュール、各担当部署を決定し、関係者、団体等に連絡

9月23日 八熊小学校にて防災訓練の実施
(午前9時～12時まで)

5 成果と課題

(1) 成果・効果

住民意識の高まり、住民間の交流の深まり。特別給水栓の場所、取扱い方法、災害時の避難場所、ビルの場所等の情報を共有できた。

(2) 苦労した点

活動の担い手が不足している。

(3) 今後の課題・展望

活動の継続、担い手の世代交代が課題。

